

A 会場（3F 国際会議室）

8:35～8:45 開会式

8:45～10:45 スポンサーシップシンポジウム 1

【メラノーマ診療におけるトータルケア（手術・アジュバント療法から進行期治療・irAE マネジメントまで）

抄録 P. 147

座長：奥山 隆平（信州大学 皮膚科）

為政 大幾（医誠会病院 皮膚科／大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科）

SSY1-1 本邦のメラノーマ診療における手術療法の位置づけと将来展望

松下茂人（まつした しげと）

鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

SSY1-2 エビデンスから考えるメラノーマの薬物療法と治療戦略

並川健二郎（なみかわ けんじろう）

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

SSY1-3 ケースから学ぶ実践的 irAE マネジメント

武田孝一（たけだ こういち）

がん研究会有明病院 感染症科/腫瘍リウマチ膠原病科

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

11:05～11:50 特別講演 1

抄録 P. 75

座長：上田 龍三（名古屋大学大学院医学系研究科）

SP1 成熟 T 細胞腫瘍の免疫病態、分子病態を斬る！

石田高司（いしだ たかし）

名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学

12:15~13:15 ランチョンセミナー 1【メラノーマ治療の課題と目指すべきゴール】

抄録 P. 167

座長：山本 有紀 (和歌山県立医科大学 皮膚科)
名嘉真武國 (久留米大学 皮膚科)**LS1-1** 進化するメラノーマの術後補助療法藤澤康弘 (ふじさわ やすひろ)
愛媛大学 皮膚科**LS1-2** 進行期メラノーマの課題と治療ゴールとは—エビデンスが示す治療戦略—吉野公二 (よしの こうじ)
がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

13:25~14:10 特別講演 2

抄録 P. 76

座長：森田 明理 (名古屋市立大学 皮膚科)

SP2 頭頸部がんのユニークな微小免疫環境山崎小百合 (やまざき さゆり)
名古屋市立大学大学院医学研究科 免疫学

14:10~14:40 石原・池田賞表彰式・発表

15:00~17:00 シンポジウム 2【臨床・ダーモスコピー・病理の三位一体セミナー】

抄録 P. 103

座長：大原 國章 (赤坂虎の門クリニック)
田中 勝 (東京女子医科大学足立医療センター 皮膚科)
安齋 真一 (株式会社ピーシーエルジャパン)**SY2-1** 胸部に生じた黒色斑結城明彦 (ゆうき あきひこ)
新潟大学医歯学総合病院 皮膚科**SY2-2** 鼻根部に生じた嚢胞性病変上原治朗 (うえはら じろう)
がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科**SY2-3** 白人男性の耳介に生じた小結節甚目航太 (はだめ こうた)
豊川市民病院 皮膚科

SY2-4 右頬部に生じた褐色斑
黒尾優太 (くろお ゆうた)
愛媛大学 皮膚科

SY2-5 右足底の黒色斑
木村俊寛 (きむら としひろ)
熊本大学 皮膚病態治療再建学講座

SY2-6 側頭部から頭頂部にかけて生じた黒色斑
山川浩平 (やまかわ こうへい)
横浜市立大学 皮膚科

17:10~18:10 イブニングセミナー 1

抄録 P. 183

座長：田中 勝 (東京女子医科大学足立医療センター 皮膚科)

ES1 The role of Ultraviolet dermoscopy in the diagnosis and management of skin cancer and other diseases

Cristian Navarrete-Dechent

Melanoma and Skin Cancer Unit, Department of Dermatology, Escuela de Medicina, Pontificia Universidad Catolica de Chile, Santiago, Chile.

共催：ジェイ・ヒューイット株式会社

B 会場 (3F 431+432)

8:45~9:45 教育講演 1 【縫合法・傷治療の基礎から応用まで】 抄録 P. 81

座長：関堂 充 (筑波大学 形成外科)
小川 令 (日本医科大学 形成外科/形成再建再生医学分野)

EL1-1 目立たない傷あとを目指した縫合法の理論と実際

土肥輝之 (どひ てるゆき)、小川 令
日本医科大学 形成外科/形成再建再生医学分野

EL1-2 切除後欠損の閉創/再建の戦略について

渋谷陽一郎 (しぶや よういちろう)、関堂 充
筑波大学 形成外科

9:55~10:55 教育講演 2 【T 細胞リンパ腫の骨髄移植】 抄録 P. 83

座長：大塚 幹夫 (福島県立医科大学 皮膚科)
島内 隆寿 (浜松医科大学 皮膚科)

EL2-1 T 細胞リンパ腫に対する造血幹細胞移植療法：到達点と今後の展望

楠本 茂 (くすもと しげる)
愛知県がんセンター 血液・細胞療法部

EL2-2 皮膚 T 細胞リンパ腫治療における造血幹細胞移植の位置づけ

濱田利久 (はまだ としひさ)
国際医療福祉大学成田病院 皮膚科

11:05~12:05 教育講演 3 【紫外線と皮膚癌】 抄録 P. 85

座長：森脇 真一 (大阪医科薬科大学 皮膚科)
牧野 輝彦 (富山大学 皮膚科)

EL3-1 DNA 損傷と皮膚がん

国定 充 (くにさだ まこと)
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 皮膚科

EL3-2 芳香族炭化水素受容体と皮膚癌

辻 学^{1,2} (つじ がく)
¹九州大学 皮膚科、²九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センター

12:10～13:20 ランチョンセミナー 2【本邦における皮膚悪性腫瘍診療の現在地—研究から臨床まで—】 抄録 P. 169

座長：山本 有平（北海道大学 形成外科）
門野 岳史（聖マリアンナ医科大学 皮膚科）

LS2-1 皮膚悪性腫瘍領域における研究の現状と課題—わたしたちの取り組み—

木庭幸子（きにわ ゆきこ）
信州大学 皮膚科

LS2-2 リアルワールドデータを踏まえた BRAF 陽性メラノーマの治療戦略

並川健二郎（なみかわ けんじろう）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

症例報告 1 松下茂人（まつした しげと）

鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

症例報告 2 吉川周佐（よしかわ しゅうすけ）

静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

14:50～15:50 教育講演 4【皮膚癌診療の新しいバイオマーカー】 抄録 P. 87

座長：福島 聡（熊本大学 皮膚科）
山口 由衣（横浜市立大学 皮膚科）

EL4-1 皮膚がん診療の新しいバイオマーカー～メラノーマにおけるリキッドバイオプシーの有用性～

木庭幸子（きにわ ゆきこ）、奥山隆平
信州大学 皮膚科

EL4-2 皮膚がん診療の新しいバイオマーカー～腫瘍微小環境と三次リンパ様構造～

中村元樹（なかむら もとき）
名古屋市立大学 皮膚科

16:00～17:00 教育講演 5【ゲノム検査で何が分かるのか】 抄録 P. 89

座長：神人 正寿（和歌山県立医科大学 皮膚科）
浅野 善英（東北大学病院 皮膚科）

EL5-1 がんゲノムから見えてくること

衣斐寛倫^{1,2}（えび ひろみち）

¹愛知県がんセンター ゲノム医療センター、

²愛知県がんセンター がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

EL5-2 ゲノム検査に基づいた皮膚がん治療

猪爪隆史 (いのづめ たかし)

千葉大学 皮膚科

17:10~18:10 イブニングセミナー 2 【再発・難治性 皮膚T細胞リンパ腫の治療戦略】

抄録 P. 184

座長：安齋 眞一 (株式会社ピーシーエルジャパン)

加藤 則人 (京都府立医科大学 皮膚科)

ES2-1 再発性/難治性 CTCL の治療におけるデニロイキン・ジフチトクスの役割

藤村 卓 (ふじむら たく)

東北大学 皮膚科

ES2-2 デニロイキンジフチトクスの副作用マネジメント

—実臨床での経験からの考察—

城 達郎 (じょう たつろう)

長崎原爆病院 血液内科

共催：エーザイ株式会社

8:45~10:45 シンポジウム 1【皮膚悪性腫瘍まるごとアップデート】 抄録 P. 97

座長：門野 岳史 (聖マリアンナ医科大学 皮膚科)
吉川 周佐 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)**SY1-1** 概念が再定義された皮膚腫瘍について後藤啓介^{1,2,3,4,5,6,7,8,9,10} (ごとう けいすけ)¹がん研究会 有明病院 病理部、²都立駒込病院 病理科、
³板橋中央臨床検査研究所 病理診断部、⁴東京医科大学 人体病理学分野、
⁵静岡がんセンター 病理診断科、⁶中東遠総合医療センター 病理診断科、
⁷大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科、⁸大阪医療センター 病理診断科、
⁹兵庫県立がんセンター 皮膚科、¹⁰鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科**SY1-2** 放射線画像診断技術 up to date

河合辰哉 (かわい たつや)

名古屋市立大学みどり市民病院 放射線科

SY1-3 乳房外 Paget 病アップデート加藤裕史 (かとう ひろし)、安井由希子、森田明理
名古屋市立大学 皮膚科**SY1-4** 有棘細胞癌

高井利浩 (たかい としひろ)

兵庫県立がんセンター 皮膚科

SY1-5 基底細胞癌の切除マージンと関連するリスク因子について

飯野志郎 (いいの しろう)

福井大学 皮膚科

SY1-6 血管肉腫まるごとアップデート

伊東孝通 (いとう たかみち)

九州大学 皮膚科

11:05~12:05 スポンサーレクチャー【自家培養表皮の可能性~再生医療の歴史から最新の白斑治療まで~】

抄録 P. 163

座長：鳥山 和宏 (名古屋市立大学 形成外科)

SL1 産業化を通じた再生医療の発展をめざして

畠賢一郎 (はた けんいちろう)

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

SL2 白斑治療に自家培養表皮は有効か！？

阿部名美子 (あべ なみこ)
東京医科大学 皮膚科

共催：株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

12:15～13:15 ランチョンセミナー 3【メラノーマ術後アジュバント療法のエビデンスと実践】
抄録 P. 172

座長：山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

LS3-1 メラノーマ術後補助療法のエビデンスと治療経験

高橋 聡 (たかはし あきら)
国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科

LS3-2 メラノーマ術後補助療法の実際—クリニカルクエスションと意思決定術—

竹之内辰也 (たけのうち たつや)
新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科

共催：MSD 株式会社

15:00～17:00 ハンズオンセミナー 2【皮膚癌インフォームドコンセントガイド】
抄録 P. 137

座長：鶴田 大輔 (大阪公立大学 皮膚科)
岩田 浩明 (岐阜大学 皮膚科)

HS2-1 皮膚癌診療とインフォームドコンセント

浅井 純 (あさい じゅん)
京都府立医科大学 皮膚科

HS2-2 手術とインフォームドコンセント

青木恵美 (あおき めぐみ)
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

HS2-3 医療安全とインフォームドコンセント～説明から対話へ～

上田英一郎 (うえだ えいいちろう)
大阪医科薬科大学病院 医療総管理部

HS2-4 緩和ケアとインフォームドコンセント

坂本雅樹 (さかもと まさき)
名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科、消化器外科

座長：天野 正宏（宮崎大学 皮膚科）
森脇 真一（大阪医科薬科大学 皮膚科）

ES3-1 皮膚リンパ腫診療の進展

濱田利久（はまだ としひさ）
国際医療福祉大学 皮膚科

ES3-2 ベキサロテンと光線治療の併用 その効果と安全性について

島内隆寿（しまうち たかとし）
浜松医科大学 皮膚科

共催：株式会社ミノファージェン製薬

8:45~9:45

一般演題 1 【メラノーマ①】

抄録 P. 195

座長：田中 了 (川崎医科大学 皮膚科)

八木 宏明 (静岡県立総合病院 皮膚科)

D-1-1 慢性の下腿皮膚潰瘍から生じた潰瘍性の in-transit 転移を伴う悪性黒色腫の 1 例山村優人 (やまむら ゆうと)、小森崇矢、中嶋千紗、白居駿也、大塚篤司
近畿大学 皮膚科**D-1-2*** Rhabdoid melanoma の 1 例高井彩也華¹ (たかい さやか)、上村杏奈¹、和泉光晃¹、土居礼一¹、森 龍彦¹、
小路口奈帆子²、中村泰大¹¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科**D-1-3** clear cell sarcoma の 1 例佐藤真由 (さとう まゆ)、則川菜摘、遠藤麻衣、猪狩翔平、石川真郷、山本俊幸
福島県立医科大学 皮膚科**D-1-4** Meleda 型掌蹠角化症に合併した悪性黒色腫の 1 例坂本翔一¹ (さかもと しょういち)、村岡響子¹、原 知之¹、稲葉 豊¹、赤坂英二郎²、
中野 創²、山本有紀¹、神人正寿¹¹和歌山県立医科大学 皮膚科、²弘前大学 皮膚科**D-1-5** Incisional biopsy による診断を経た全摘の 5 年後に局所再発した頬部悪性黒色腫の 1 例眞部恵子 (まなべ けいこ)、砂川 滉、神野泰輔、藤本裕子、藤原 暖、池田政身
高松赤十字病院 皮膚科**D-1-6*** 初発から 15 年間にわたり植皮部および隣接部位に局所再発を繰り返す左踵部表皮内悪性黒色腫の 1 例内堀貴文 (うちぼり たかふみ)、岩下宣彦、石黒暁寛、山本泰熙、竹尾友彦、
玉田康彦、高間弘道、渡辺大輔

愛知医科大学 皮膚科

D-1-7* 頬部に発生した tumoral melanosis の 1 例中川智絵¹ (なかがわ ともえ)、松谷泰佑¹、菅原基史¹、野崎尋意¹、成瀬早紀¹、
南部藍子¹、小松成綱²、山本明美¹¹旭川医科大学 皮膚科、²旭川厚生病院 皮膚科

D-1-8*

FDG 集積があり悪性黒色腫の転移性病変との鑑別が困難であった traumatic neuroma の 1 例

岩田麻里^{1,2} (いわた まり)、吉田 諭¹、八束和樹¹、村上正基¹、北澤理子³、藤澤康弘¹
¹愛媛大学 皮膚科、²愛媛県立中央病院 皮膚科、³愛媛大学 病理診断科・病理部

9:55~10:55 一般演題 2 【メラノーマ②】

抄録 P. 197

座長：種村 篤 (大阪大学 皮膚科)
 並木 剛 (東京医科歯科大学 皮膚科)

D-2-1

悪性黒色腫の oligo-metastasis に対する局所加療の有用性に関する検討

望月亮佐 (もちづき りょうすけ)、宮崎梨香子、中谷祥子、高井利浩
 兵庫県立がんセンター 皮膚科

D-2-2

BRAF 変異陰性露光部黒色腫に対する抗 PD-1 抗体と抗 PD-1 抗体+抗 CTLA-4 抗体併用の効果

猪爪隆史¹ (いのづめ たかし)、並川健二郎²、加藤裕史³、木庭幸子⁴、吉野公二⁵、
 伊東孝通⁶、水橋 覚⁷、吉川周佐⁸、宇原 久⁹、中村泰大¹⁰

¹千葉大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、
³名古屋市立大学 皮膚科、⁴信州大学 皮膚科、⁵がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、
⁶九州大学 皮膚科、⁷熊本大学 皮膚科、⁸静岡がんセンター 皮膚腫瘍科、
⁹札幌医科大学 皮膚科、¹⁰埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

D-2-3

進行性悪性黒色腫治療におけるニボルマブ・PAI-1 阻害薬併用療法の安全性・有効性の検討

藤村 卓¹ (ふじむら たく)、吉野公二²、加藤裕史³、福島 聡⁴、藤澤康弘⁵、
 石月翔一郎⁶、大塚篤司⁷、松下茂人⁸、神林由美¹、浅野善英¹

¹東北大学 皮膚科、²がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、³名古屋市立大学 皮膚科、
⁴熊本大学 皮膚科、⁵愛媛大学 皮膚科、⁶筑波大学 皮膚科、⁷近畿大学 皮膚科、
⁸鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

D-2-4

Stage III 悪性黒色腫に対するペムブロリズマブ術後補助療法の第 3 相試験の日本人集団解析：5 年追跡

清原祥夫¹ (きよはら よしお)、山崎直也²、横田憲二³、猪爪隆史⁴、福島 聡⁵、
 竹之内辰也⁶、関 康博⁷、Dmitri Grebennik⁸、Michal Kicinski⁹、
 Alexander M.M. Eggermont¹⁰

¹静岡県立静岡がんセンター支持療法センター 皮膚科、
²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、³名古屋大学 皮膚科、⁴千葉大学 皮膚科、
⁵熊本大学 皮膚科、⁶新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、⁷MSD株式会社、
⁸Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA、
⁹European Organisation for Research and Treatment of Cancer Headquarters、
¹⁰Princess Máxima Center and University Medical Center Utrecht

D-2-5 末端型と非末端型メラノーマにおける Tumor thickness とセンチネルリンパ節転移率の検討

堀本浩平 (ほりもと こうへい)、加藤潤史、佐藤さゆり、澤田匡秀、箕輪智幸、半田稔也、小松彩友香、神谷崇文、肥田時征、宇原 久
札幌医科大学 皮膚科

D-2-6 グルコース-6-リン酸脱水素酵素阻害による免疫原性細胞死の誘導と免疫療法効果の増強

中村元樹 (なかむら もとぎ)、吉満真紀、真柄徹也、加納慎二、加藤裕史、森田明理
名古屋市立大学 皮膚科

D-2-7 悪性黒色腫の原発巣における好中球細胞外トラップ形成と臨床病理組織学的検討

杉浦美月 (すぎうら みづき)、岩田洋平、杉浦一充
藤田医科大学 皮膚科

11:05~12:05 一般演題3【メラノーマ③】

抄録 P. 199

座長：神谷 秀喜 (中部国際医療センター 皮膚科・皮膚がんセンター)
柳 輝希 (北海道大学 皮膚科)

D-3-1 BRAF/MEK 阻害薬の眼障害の5例

中村謙太 (なかむら けんた)、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

D-3-2 演題取り下げ**D-3-3** 髄膜癌腫症を来した悪性黒色腫 10 例の解析

片岡和也^{1,2} (かたおか かずや)、中村杏奈^{1,3}、高塚純子¹、竹之内辰也¹、五十川瑞穂⁴、高橋英明⁴

¹新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科、³新潟大学 皮膚科、

⁴新潟県立がんセンター新潟病院 脳神経外科

D-3-4 当院で経験した脊髄原発メラノサイト系腫瘍 6 例の病理組織学的・臨床的特徴の検討

小林研太¹ (こばやし けんた)、土屋茉里絵¹、平井郁子¹、中村善雄¹、辻 収彦²、名越慈人²、川井田みほ³、大喜多肇³、岩田 卓⁴、船越 建¹

¹慶應義塾大学 皮膚科、²慶應義塾大学 整形外科、³慶應義塾大学 病理診断科、

⁴慶應義塾大学 産婦人科

D-3-5 当科における進行期メラノーマに対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法の治療経験

天貝 諒 (あまが い りょう)、藤村 卓、板橋知怜、千葉広夢、大内謙太郎、
玉淵恵里佳、神林由美、橋本 彰、浅野善英
東北大学 皮膚科

D-3-6 Stage II、III 悪性黒色腫術後臨床経過のまとめ

上原治朗¹ (うへはら じろう)、吉村有彩¹、北野滋久²、吉野公二¹
¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発科

D-3-7 進行期 BRAF 陽性メラノーマに対する一次治療の多施設共同後ろ向き研究 (B-CHECK-RWD study)

並川健二郎¹ (なみかわ けんじろう)、伊東孝通²、吉川周佐³、吉野公二⁴、木庭幸子⁵、
爲政大幾⁶、竹之内辰也⁷、加藤裕史⁸、福島 聡⁹、山崎直也¹
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²九州大学 皮膚科、
³静岡がんセンター 皮膚科、⁴がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、⁵信州大学 皮膚科、
⁶大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、⁷新潟がんセンター 皮膚科、
⁸名古屋市立大学 皮膚科、⁹熊本大学 皮膚科

12:15~13:15 ランチョンセミナー 4

抄録 P. 174

座長：金蔵 拓郎 (鹿児島大学 皮膚科)

LS4 皮膚科における ATL 診療とハイヤスタ錠の使用経験

米倉健太郎 (よねくら けんたろう)
今村総合病院 皮膚科

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

14:50~15:55 一般演題 7 【メラノーマ④】

抄録 P. 207

座長：藤田 英樹 (日本大学板橋病院 皮膚科)
大塚 正樹 (中東遠総合医療センター 皮膚科)

D-4-1* 間質性肺炎を既往に持つ食道原発悪性黒色腫の 1 例

陣内駿一¹ (じんない しゅんいち)、山崎直也^{1,2}、高橋 聡^{1,2}
¹国立がん研究センター 東病院 皮膚腫瘍科、²国立がん研究センター 中央病院 皮膚腫瘍科

D-4-2 多彩な irAE を認めた左大腿原発悪性黒色腫症例

神野泰輔¹ (かんの たいすけ)、立花宏太¹、森実 真¹、眞部恵子²
¹岡山大学 皮膚科、²高松赤十字病院 皮膚科

D-4-3 免疫チェックポイント阻害薬で治療中に重症の血管内凝固 (DIC) を生じた悪性黒色腫の 1 例

栗山春香¹ (くりやま はるか)、木村俊寛¹、宮下 梓¹、青井 淳¹、富田雄介²、川崎 剛³、野坂生郷⁴、福島 聡¹
¹熊本大学 皮膚科、²熊本大学 呼吸器内科、³熊本大学 消化器内科、⁴熊本大学 血液内科

D-4-4 複数の irAE によって重篤な経過をたどった BRAF 変異陽性悪性黒色腫の 1 例

加納慎二 (かのう しんじ)、中村元樹、安井由希子、吉満真紀、加藤裕史、森田明理
 名古屋市立大学 皮膚科

D-4-5 ダカルバジンにより CR を維持している免疫関連肺炎合併悪性黒色腫

蓑川葉子 (みのかわ ようこ)、佐々木奈津子、岡田悦子、澤田雄宇
 産業医科大学 皮膚科

D-4-6 原発不明悪性黒色腫に対するニボルマブ投与により irAE 心筋炎をきたした 1 例

澤 杏樹¹ (さわ あんじゅ)、中江 真¹、石川朋武¹、高溝真成¹、井岡奈津江¹、浅井 純¹、加藤則人¹、戸村暢成²、毛受奏子³
¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 循環器内科、³京都府立医科大学 神経内科

D-4-7 ペムブロリズマブ投与開始から 1 年後に免疫性血小板減少性紫斑病を来した眼瞼、眼球結膜悪性黒色腫の 1 例

石川一志¹ (いしかわ かずし)、梅木真由子、佐藤崇興¹、西依 諒¹、竹尾直子²、波多野豊¹
¹大分大学 皮膚科、²大分県立病院 皮膚科

D-4-8 メラノーマ抗 PD-1 抗体術後補助療法：irAE が予後に与える影響の検討

武藤雄介¹ (むとう ゆうすけ)、藤村 卓¹、加藤裕史²、福島 聡³、伊東孝通⁴、前川武雄⁵、藤澤康弘⁶、吉野公二⁷、松下茂人⁸、浅野善英¹
¹東北大学 皮膚科、²名古屋市立大学 皮膚科、³熊本大学 皮膚科、⁴九州大学 皮膚科、⁵自治医科大学 皮膚科、⁶愛媛大学 皮膚科、⁷がん研究会 有明病院 皮膚腫瘍科、⁸鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

16:00~17:05 一般演題 8 【メラノーマ⑤】

抄録 P. 209

座長：中村 善雄 (慶應義塾大学 皮膚科)
 岩田 洋平 (藤田医科大学 皮膚科)

D-5-1* カテーテルインターベンションが出血制御と腫瘍縮小に有効であった腔原発悪性黒色腫

六戸大樹 (ろくのへ だいき)、山下あや、吉川未雪、高橋実か、赤坂英二郎、中島康爾、中野 創、澤村大輔
 弘前大学 皮膚科

D-5-2* ネオアジュバント療法で加療した顔面巨大悪性黒色腫の 1 例

笹岡佑輔¹ (ささおか ゆうすけ)、石塚洋典²、藤本 萌¹、種村 篤¹、藤本 学¹
¹大阪大学 皮膚科、²大阪大学アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座

D-5-3 免疫チェックポイント阻害剤、重粒子療法、遺伝子パネルによる受け皿試験等の治療をしたメラノーマの1例

横見明典 (よこみ あきのり)、黒神 祐、坂本理佳、後藤範子
市立豊中病院 皮膚科

D-5-4 Imatinib が奏功した KIT p.Asn655Lys 変異を伴う粘膜悪性黒色腫の1例

八木田隼啓¹ (やぎた としひろ)、新川衣里子¹、福本 毅¹、藤原 進¹、大郷真理子¹、
柴田慶子¹、久保亮治¹、金原史郎²、南 博信²
¹神戸大学 皮膚科、²神戸大学 臨床ゲノム診療・研究センター

D-5-5 治療選択に難渋した肛門部悪性黒色腫の1例

藤井洋介 (ふじい ようすけ)、藤井翔太郎、塩入桃子、長尾 愛、田井志正、
小倉香奈子、長野 徹
神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科

D-5-6 ダカルバジンが有効であった ICI 抵抗性 PTHrP 産生悪性黒色腫の1例

脇 裕磨¹ (わき ゆうま)、中條聡美¹、鵜飼なつこ²、岩本雅美²、羽野 寛³、
延山嘉真¹、朝比奈昭彦¹
¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、²東京慈恵会医科大学 病理学講座/同 病院病理部、
³東京慈恵会

D-5-7 ペムブロリズマブ中断後に脳転移を生じ、ガンマナイフ照射と再投与で完全奏功を得た悪性黒色腫

横山恵美 (よこやま めぐみ)、須山孝雪、松木康讓、西村季紘、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

D-5-8 HRR 関連遺伝子変異のある外陰部原発悪性黒色腫に対してカルボプラチン・パクリタキセル療法が奏功した2例

齊藤日向子 (さいとう ひなこ)、尾松 淳、淡路健太郎、永井幸司郎、岩澤億斗、
川嶋久雄、三宅知美、山田大資、宮川卓也、佐藤伸一
東京大学 皮膚科

8:45~9:50 一般演題 4 【パジェット①】

抄録 P. 201

座長：八田 尚人（富山県立中央病院 皮膚科）
前田進太郎（金沢大学 皮膚科）**E-1-1** 異所性乳房外 Paget 病の 1 例伊崎聡志¹（いざき さとし）、西盛信幸¹、田杭具視¹、櫻村 勉²、野田真史³、藤田英樹¹
¹日本大学 皮膚科、²日本大学 形成外科、³池袋駅前のだ皮膚科**E-1-2** 右下腹部に生じた異所性乳房外パジェット病島村明里（しまむら あかり）、須山孝雪、横山恵美、西村季紘、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科**E-1-3*** 各種化学療法により生存期間延長が得られた進行期乳房外 Paget 病の 1 例浦田和美（うらた かずみ）、梶原一亨、鈴木健久、栗山春香、青井 淳、福島 聡
熊本大学 皮膚科**E-1-4** 鼠径部センチネルリンパ節に benign mullerian glandular inclusions を認めた外陰部乳房外 Paget 病の 1 例石井美美¹（いしい ふみ）、水田康生²、芦田日美野¹、磯田哲也³、神農陽子³、浅越健治¹
¹岡山医療センター 皮膚科、²津山中央病院 皮膚科、³岡山医療センター 病理診断科**E-1-5** 当科で経験した腋窩 Paget 病の 5 例猪狩翔平（いがり しょうへい）、草野美沙希、石川真郷、菊池信之、花見由華、
大塚幹夫、山本俊幸
福島県立医科大学 皮膚科**E-1-6** 剖検にて骨髓癌腫症を診断し得た乳房外 Paget 病の 1 例中野 瞬¹（なかの しゅん）、中島瑞穂¹、齋藤晋太郎¹、山崎咲保里¹、安田正人¹、
齋藤恵実²、茂木精一郎¹
¹群馬大学 皮膚科、²群馬大学 病理部・病理診断学**E-1-7*** 転移をきたした乳房外パジェット癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を使用した 1 例武藤容典（むとう よしのり）、小川陽一、木下真直、島田眞路、川村龍吉
山梨大学 皮膚科**E-1-8** 重症大動脈弁狭窄症を合併し血小板輸血による輸血関連急性肺障害を発症した乳房外 Paget 癌の 1 例黒神 祐¹（くろかみ ゆう）、種村 篤¹、山下千佳紗¹、外村香子¹、石塚洋典¹、
清原英司¹、藤本 学¹、吉田健史²、徳平夏子²、藤野裕士²
¹大阪大学 皮膚科、²大阪大学 集中治療部

座長：武市 拓也（名古屋大学 皮膚科）
平井 郁子（慶應義塾大学 皮膚科）

E-2-1 化学放射線療法を施行した乳房外パジェット病の2例

伊藤 拓^{1,2}（いとう たく）、能登 舞¹、石河軌久²、熊谷史子¹、堀江咲織¹、
赤坂有妃子¹、河野通浩¹

¹秋田大学 皮膚科、²大曲厚生医療センター 皮膚科

E-2-2 血清 CEA 高値を呈した進行期乳房外 Paget 病の1例

紺野隆之（こんの たかゆき）、荒木勇太、池田 梓、鈴木民夫
山形大学 皮膚科

E-2-3 転移性乳房外パジェット病に対する低用量内服エトポシドの有効性の検討

藤田 壮^{1,2}（ふじた そう）、浦上揚介^{1,2}、山本剛伸^{1,2}、神谷伸彦³、上原慎也⁴、青山裕美¹

¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学総合医療センター 皮膚科、

³川崎医科大学総合医療センター 放射線科、⁴川崎医科大学総合医療センター 泌尿器科

E-2-4 PTHrP 産生による高カルシウム血症を伴った、進行期乳房外 Paget 病の2例

大江秀一（おおえ しゅういち）、大迫彩乃、荒金布真、菊澤千秋、坂本幸子、爲政大幾
大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科

E-2-5 根治切除不能乳房外 Paget 病に対するドセタキセル療法のまとめ

上原治朗¹（うえはら じろう）、吉村有彩¹、北野滋久²、吉野公二¹

¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発科

E-2-6 当科の過去 10 年間における粘膜側断端が陽性の乳房外 Paget 病に関する術後放射線療法のまとめ

石川秀幸（いしかわ ひでゆき）、山川浩平、水野雄斗、福澤理映、山口由衣
横浜市立大学 皮膚科

E-2-7 外陰部乳房外パジェット病の同胞 3 名発症例に対する遺伝学的検討

小林由季¹（こばやし ゆき）、中村善雄²、宮川 明大²、中村康平³、菅野康吉^{4,5}、
船越 建²、稲積豊子¹

¹立川病院 皮膚科、²慶應義塾大学 皮膚科、

³慶應義塾大学 腫瘍センターゲノム医療ユニット、⁴慶應義塾大学 臨床遺伝学センター、

⁵佐々木研究所杏雲堂病院 遺伝子診療科

E-2-8 進行期乳房外パジェット病患者 204 例における化学療法の有効性に関する後方視的多施設共同研究

宮下 梓¹（みやした あずさ）、福島 聡¹、吉野公二²、加藤裕史³、山崎直也⁴、
川島秀介⁵、山本有紀⁶、中村泰大⁷、木庭幸子⁸、松下茂人⁹

¹熊本大学、²がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、³名古屋市立大学 皮膚科、

⁴国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、⁵千葉大学 皮膚科、

⁶和歌山県立医科大学 皮膚科、⁷埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、

⁸信州大学 皮膚科、⁹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

座長：帆足 俊彦（日本医科大学 皮膚科）
木村 中（函館中央病院 形成外科）

- E-3-1*** 臀部に生じ特異な外観を呈した基底細胞癌の1例
逢坂 萌（おうさか もえ）、吉谷州太、大塚俊宏、福永 淳、森脇真一
大阪医科薬科大学 皮膚科
- E-3-2** Basal cell carcinoma with matrical differentiation の1例
須田孝博¹（すだ たかひろ）、白水 舞¹、松田杏奈¹、安野秀一郎¹、下村 裕¹、
森重拓士²、池田栄二²、林亜矢子³
¹山口大学 皮膚科、²山口大学 病理診断科、³もみの木皮膚科クリニック
- E-3-3** 正常皮膚から発生した、同一病変内に基底細胞癌と毛芽腫を合併した2例
梅田善康¹（うめだ よしやす）、田中 了¹、宮脇秀徳¹、青山裕美¹、藤本康人²、
西村広健²、塩見達志²、森谷卓也²
¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 病理部
- E-3-4*** Adenoid type の基底細胞癌 2例
岩田奈子（いわた なこ）、坂井田高志
江南厚生病院 皮膚科
- E-3-5*** 陰嚢部に生じた Clear Cell Basal Cell Carcinoma の1例
山本周平¹（やまもと しゅうへい）、原 一夫²
¹岡崎市民病院 皮膚科、²愛知医科大学 病理学講座
- E-3-6** sarcomatoid change を伴い急速な経過をたどった基底細胞癌の1例
大堀侑紀（おおほり ゆき）、丸山彩乃、足立尚弥、高溝真成、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科
- E-3-7*** 肛門周囲皮膚に生じ in-transit 転移を伴った basosquamous carcinoma
池田宏器（いけだ ひろき）、井上卓也、杉田和成
佐賀大学 皮膚科
- E-3-8** 後頭部原発 basosquamous carcinoma の1例
畑 明人¹（はた あきひと）、島内隆寿¹、藤山俊晴¹、本田哲也¹、柿沼翔太²、橋本宗明³
¹浜松医科大学 皮膚科、²浜松医科大学 形成外科、³浜松医科大学 脳神経外科

座長：河井 一浩（木戸病院 皮膚科）
坂井田高志（江南厚生病院 皮膚科）

- E-4-1** デュピルマブ投与後に紅皮症化、白血化した CD8 陽性菌状息肉症
島田邦彦¹（しまだ くにひこ）、藤井一恭¹、吉崎 愛¹、松岡温子¹、馬場直子¹、
大島孝一²、金蔵拓郎¹
¹鹿児島大学 皮膚科、²久留米大学 病理学
- E-4-2** 血管中心性浸潤を伴った CD4-CD8-菌状息肉症の 1 例
鈴木謙仁¹（すずき のりひと）、島内隆寿¹、宜野座淳善¹、影山玲子¹、伊藤泰介¹、
橋爪秀夫²、大島孝一³、本田哲也¹
¹浜松医科大学 皮膚科、²磐田市立総合病院 皮膚科、³久留米大学 病理学
- E-4-3** 血球貪食症候群を合併した皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫の 1 例
田中美穂¹（たなか みほ）、小牧玲雄¹、望月俊彦¹、竹内そら¹、宮垣朝光¹、門野岳史¹、
富田直人²
¹聖マリアンナ医科大学病院 皮膚科、²聖マリアンナ医科大学病院 血液・腫瘍内科
- E-4-4*** 環状肉芽腫様の皮膚症状を呈した成人 T 細胞白血病リンパ腫
古村尚士¹（こむら たかし）、上野彩夏¹、新原寛之¹、千貫祐子¹、山崎 修¹、高橋 勉²、
荒木亜寿香³、新野大介³、太田征孝⁴
¹島根大学 皮膚科、²島根大学 血液内科、³島根大学 病理学、⁴おおた皮膚科クリニック
- E-4-5** Nivolumab 長期投与中に生じた Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma
の 1 例
丸山彩乃（まるやま あやの）、在田貴裕、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科

座長：坊木ひかり（東京大学 皮膚科）
橋川 恵子（久留米大学 皮膚科）

- E-5-1** 会陰部潰瘍を初発とした末梢性 T 細胞リンパ腫・非特定型の 1 例
豊澤優衣（とよさわ ゆい）、金子高英、高森建二、須賀 康
順天堂大学浦安病院 皮膚科
- E-5-2** 皮下結節を形成した、前額部の原発性皮膚末梢性 T 細胞リンパ腫・非特定型の
1 例
前賢一郎（まえ けんいちろう）、入澤亮吉¹、脇本紘子¹、原田和俊¹、濱田利久²
¹東京医科大学 皮膚科、²国際医療福祉大学 皮膚科

E-5-3 社会的要因により治療に苦慮した PTCL、NOS の 1 例

伊藤一真¹ (いとう かずま)、森村壮志¹、酒井友歌¹、乗松雄大¹、赤塚太郎¹、濱田利久¹、大西かよ子²、小無田美菜³、林雄一郎³、菅谷 誠¹

¹国際医療福祉大学 皮膚科、²国際医療福祉大学 放射線科、³国際医療福祉大学 病理診断科

E-5-4 放射線照射が奏効した多発型 primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma の 1 例

北嶋友紀¹ (きたじま ゆき)、矢村明久¹、伊藤真未¹、寺井沙也加¹、槇村 馨¹、志賀淑子²、吉田 謙²、宇都宮啓太²、清原隆宏¹

¹関西医科大学総合医療センター 皮膚科、²同 放射線科

E-5-5 原発性皮膚濾胞中心リンパ腫の 1 例

小田中愛子^{1,2} (おだなか あいこ)、御子柴飛鳥¹、木庭幸子¹、奥山隆平¹

¹信州大学 皮膚科、²長野赤十字病院 皮膚科

E-5-6 血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫疑診 33 例の診断確定におけるランダム皮膚生検の有用性の検討

大草康正 (おおくさ やすまさ)、田口良吉、福田知雄

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科

F 会場 (3F 232)

8:45~10:45 スポンサーハンズオンセミナー 1【超高周波超音波で診る皮膚科の新しい世界】
抄録 P. 157

座長：緒方 大 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

講師

加納慎二 (かのう しんじ)
名古屋市立大学 皮膚科

八代 浩 (やつしろ ひろし)
八代皮フ科クリニック

共催：富士フイルムメディカル株式会社

14:50~15:50 一般演題 11【間葉系】 抄録 P. 215

座長：田村 敦志 (伊勢崎市民病院 皮膚科)
小俣 渡 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)

F-1-1 異時性に発症した隆起性皮膚線維肉腫の 1 例

後藤寛之¹ (ごとう ひろゆき)、久岡正典²、池田彩乃¹、吉田雄一¹、山元 修¹
¹鳥取大学 皮膚科、²産業医科大学 第一病理学

F-1-2 病巢中に多数の脂肪細胞を認めた DFSP の 1 例

米澤理沙子¹ (よねざわ りさこ)、大久保葵¹、川平尚生¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、
米良健太郎²、金蔵拓郎¹
¹鹿児島大学 皮膚科、²米良ひふ科クリニック

F-1-3 植皮部より発生した隆起性皮膚線維肉腫 1 例

三浦慎平 (みうら しんぺい)、渡辺彩乃、後藤真紀、荒川伸之、天野博雄
岩手医科大学 皮膚科

F-1-4 前胸部に生じた巨大な隆起性皮膚線維肉腫の 1 例

梅木真由子¹ (うめき まゆこ)、佐藤崇興¹、石川一志¹、上原 幸²、清水史明²、
田仲和宏³、波多野豊¹
¹大分大学 皮膚科、²大分大学 形成外科、³大分大学 先進医療科学科

F-1-5 9 年間ステロイド注射された隆起性皮膚線維肉腫の症例から学ぶ類似疾患の
検討

飯田麻子¹ (いいだ あさこ)、赤石諭史¹、土佐眞美子²、小川 令²、桑原大彰¹
¹日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科、²日本医科大学 形成外科・再建外科・美容外科

F-1-6 Solitary fibrous tumor の 1 例

石川真郷 (いしかわ まさと)、草野美沙希、渡邊幸奈、山本俊幸
 福島県立医科大学 皮膚科

F-1-7 皮膚生検により診断に至った SMARCA4 欠損腫瘍の 1 例

松岡温子 (まつおか あつこ)、多田浩一、宮内一成、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 鹿児島大学 皮膚科

16:00~17:05 一般演題 12 【MCC/その他】

抄録 P. 217

座長：渡辺 大輔 (愛知医科大学 皮膚科)
 清水 晶 (金沢医科大学 皮膚科)

F-2-1 両耳介に生じたメルケル細胞癌の 1 例

加藤美和 (かとう みわ)、加藤 威、山本麻友香、速水拓真、山口明彦、高橋聡文、
 藤本徳毅
 滋賀医科大学 皮膚科

F-2-2 免疫チェックポイント阻害薬と強度変調放射線治療の併用療法を行った頬部乳児頭大メルケル細胞癌の 1 例

吉満真紀¹ (よしみつ まき)、中村元樹¹、安井由希子¹、加納慎二¹、加藤裕史¹、
 真柄徹也²、森田明理¹
¹名古屋市立大学 皮膚科、²三重北医療センターいなべ総合病院 皮膚科

F-2-3* うっ滞性皮膚炎様の臨床像を呈したメルケル細胞癌の 1 例

坂本拓海¹ (さかもと たくみ)、菅 崇暢¹、佐藤秀貴¹、末岡愛実¹、田中暁生¹、
 小西花恵²、水野麻紀³
¹広島大学 皮膚科、²広島大学 呼吸器内科、³広島西医療センター

F-2-4 超高齢者に生じたメルケル細胞癌の治療経験

増田百合香 (ますだ ゆりか)、伊村紀慧、佐野悠子、八木宏明
 静岡県立総合病院 皮膚科

F-2-5 病期Ⅰ-Ⅲ メルケル細胞癌の治療選択の現状

中野英司 (なかの えいじ)、緒方 大、並川健二郎、中山裕一、和田昇悟、鶴田成二、
 奥村真央、松井馨之、日置紘二郎、山崎直也
 国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

F-2-6* 局所再発と左鼠径リンパ節転移を生じた会陰部 Malignant granular cell tumor の 1 例

西原桃子¹ (にしはら ももこ)、江藤博文¹、田中愛実¹、持田耕介¹、佐藤勇一郎²、
 天野正宏¹
¹宮崎大学 皮膚科、²宮崎大学 病理診断科

F-2-7*

基底細胞癌を合併し診断に苦慮した脂腺腫の1例

大幡万里恵¹ (おおはた まりえ)、福本 毅¹、後藤 彩¹、新川衣里子¹、藤原 進¹、
吉岡愛育¹、神保直江²、久保亮治¹

¹神戸大学 皮膚科、²神戸大学 病理部・病理診断科

F-2-8

甲状腺癌の穿刺吸引細胞診後に皮膚に穿刺経路再発を生じた1例

宮崎梨香子 (みやざき りかこ)、望月亮佐、中谷祥子、高井利浩

兵庫県立がんセンター 皮膚科

8:45~10:45 ハンズオンセミナー 1 【皮弁作成演習】

抄録 P. 135

座長：元村 尚嗣 (大阪公立大学 形成外科)
橋本 一郎 (徳島大学 形成外科)**HS1-1** 顔面皮膚悪性腫瘍に対する皮弁再建術の基礎高木信介 (たかぎ しんすけ)
昭和大学 形成外科**HS1-2** 顔面皮膚悪性腫瘍に対する皮弁再建術の実践林 礼人 (はやし あやと)
横浜市立大学 形成外科

15:00~17:00 スポンサーハンズオンセミナー 2

【縫合技術の真髓を知る—実践ですぐに使える縫合テクニックを学ぶ—】

抄録 P. 158

座長：林 利彦 (旭川医科大学 形成外科)

講師

安倍吉郎 (あべ よしろう)
徳島大学 形成外科前田 拓 (まえだ たく)
北海道大学 形成外科清水史明 (しみず ふみあき)
大分大学 形成外科山尾 健 (やまお たけし)
旭川医科大学 形成外科

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社